

第一号議案 令和3年度総会（2021年度）役員名簿

公益社団法人 生頼範義記念 みやざき文化推進協会 役員名簿（案）

（令和3年4月1日～）

氏 名	所 属
代表理事 石川 千佳子	宮崎大学教育学部
理事 石田 達也	みやざきアートセンター
理事 井手 義哉	宮崎県企業局長
理事 大泉 佳広	宮崎大学教育学部
理事 山本 哲也	宮崎市文化・市民活動課長
理事	MRT宮崎放送
理事	UMKテレビ宮崎
理事	宮崎日日新聞社
監事 道本 晋一	音楽教室講師
監事 樋口 祐紀	みやざきアートセンター

顧問

氏 名	所 属
浜門 正和	川越孝幸税理士事務所
生頼 太郎	画家

事務局

氏 名	所 属
工藤 悦朗	みやざきアートセンター
長岡 政己	みやざきアートセンター

第1回総会 議決

令和2年度（2020年度）

事業報告書

2021年1月21日から
2021年3月31日まで

公益社団法人 生頼範義記念 みやざき文化推進協会

はじめに

【環境認識】

宮崎県の現状をみると、少子高齢化に加え、若者の県外流出の人数が増加傾向にあり、高校まで宮崎にいながら進学、就労に関しては都市部で生活する傾向が続いている。また文化・芸術に関する人材も同様に地元で活躍する者が圧倒的に少なく、地方都市で職業として文化・芸術に携わる若年層が活躍する場の創出の限界が一層顕在化しており、宮崎県という地方都市での文化・芸術に携わる人材の育成の場、環境づくりが喫緊の課題として挙げられる。

令和2年度10月には宮崎県内で「第35回国民文化祭・みやざき／第20回全国障害者芸術・文化祭みやざき大会」が開催される予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により令和3年度に延期となった。

平成29年12月（2017年）に一般社団法人として活動を開始した当法人も過去2年間において、芸術文化の普及及び人材育成に努めてきたが、令和2年度（2021年）を2月3日に公益社団化とし登記を完了し、より広く活動の幅を広めていくことで、「民間による自発的な文化・芸術活動」を推進し「魅力ある地域社会を創造する」ことを念頭におき、民間公益活動の質と量を高めていくことが重要であると認識している。

以上の環境認識のもと、令和2年度事業計画は、故・生頼範義氏が遺したイラスト、絵画作品を活用し、宮崎県内での文化・芸術に対する県民の意識の醸成及び、文化・芸術に携わる人材育成を柱に諸施策を達成するため継続して活動を続けていくものである。但し、公益化のタイミングが年度の末ということもあり実質の活動期間が1ヶ月程しかないため、令和2年度の残りの期間は本事業計画をベースに活動に取り組んだ。

【基本方針】

故・生頼範義氏が遺したイラスト及び絵画作品を保存・保管に努めると共に、宮崎県内での展示会等を企画し、文化・芸術に携わる若手の人材育成と県民の文化に対する意識の醸成を企図することで、地域社会の発展に寄与することを目的として令和2年度は次の3項目を軸に事業計画を策定した。

- 1) 展覧会の開催、常設の展示会場の設置実現に向けての計画策定
- 2) 故・生頼範義氏の作品・約3,000点の保存及び調査研究
- 3) 若手アーティスト育成のための支援

【令和2年度事業方針】

基本方針に基づき、宮崎県の芸術・文化を取り巻く環境変化・課題を適切にとらえつつ、以下の具体的活動を積極的に推進する。

- 1) 一般社団法人から公益社団法人への移行業務
・一般社団法人から公益社団法人への移行に関する事務的業務
- 2) 展覧会の開催、常設の展示会場の設置・実現に向けての体制づくり
- 3) 故・生頼範義氏の作品・約3,000点の保存及び調査研究
・故・生頼範義氏が遺したイラスト及び絵画作品の製作年度の調査
- 4) 若手アーティスト育成のための支援事業の準備

「事業実施内容」

〈公益事業〉

1. 故・生頼範義氏の遺した作品の普及・啓発を目的とし、展覧会を企画すると共に、常設展示会場の設置に関する事業（公1）
 - （1）展覧会の開催準備
今後、様々なニーズに対応できるよう「生頼範義 展」の開催に関する準備作業を行う。
 - （2）常設展示場設置の計画策定（公1－②）
生頼作品が日常の中でいつでも見られるような環境を創造するため、宮崎県内に常設展示場を設置するための計画策定に着手し、関係機関と調整のうえ、必要であれば関係機関に提案し実現に向けての活動を行った。

第二号議案 令和3年度（2020年度）事業計画書

2. 故・生頼範義氏の遺した作品の保存及び調査研究に関する事業（公2）
 - （1）生頼範義作品の調査研究（公2－①）

現在、故・生頼範義氏のアトリエに保管されているイラスト・及び絵画作品の詳細（制作年度、制作の目的、画材等）を調査し後世に遺していく資料として整備するための調査研究を行った。
 - （2）生頼作品保存のための施設設置の計画策定（公2－②）

前項の作品を保存、保管していくための施設を確保するための計画策定に着手し、関係機関と調整、必要であれば関係機関に提案し実現に向けての活動を行った。
3. 若手アーティスト育成のための支援に関する事業（公3）
 - （1）第2回「生頼範義賞」公募事業の開催準備（公3－①）

芸術文化のさらなる普及を目指し、第2回「生頼範義賞」の公募事業を、計画する。受賞者発表会等を開催し若手アーティストとイラスト分野における産業との幅広い連携を図る契機とする。
 - （2）令和3年度に行う、若手アーティスト育成の場となるよう他団体(出版者、NPO等)との連携により、将来のイラストレーター、画家を目指す人材の育成に関わる課題と取り組みについて学習会、意見交換会等を開催する準備を行う。（公3－②）

〈その他事業〉

4. 関連商品の製作・販売（他1）
 - （1）複製原画等の製作・販売に関する事業

公益事業を展開するための事業費を捻出するため、生頼家の許諾を得て生頼氏の作品の中からセレクトしたものの複製原画等を作製し販売する販売先は宮崎市の企画課とし、宮崎市のふるさと納税の返礼品として納品するための協議をおこなった。

監査報告書

公益社団法人 生頼範義記念みやざき文化推進協会

代表理事 殿

第5期事業年度（令和3年1月22日から令和3年3月31日迄）の
帳簿、及び証憑等明細書を監査した結果、適法に処理、記載されてい
ると認める。

以 上

令和3年 〇 月 〇 / 日

公益社団法人 生頼範義記念みやざき文化推進協会

監事 道本晋一 

第三号議案

令和2年度(2020年度)収支決算書 2021年1月21日 ~ 2021年3月31日 公益社団法人 生頼範義記念みやざき文化推進協会

(単位:円)

	公益目的事業 会計	法人会計	令和2年度 (予算)	平成31年度 (実績見込)	公益目的事業会計(内訳表)				収益事業1
					公1	公2	公3	共通	
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
① 基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
② 特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③ 受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
正会員受取会費			0						
賛助会員受取会費			0						
名誉会員受取会費			0						
④ 事業収益	0	0	0	524,596	0	0	0	0	0
(公1) 博物館事業			0						
(公2) 表彰事業			0						
(公3) 学習会開催事業			0						
収益事業			0	524,596					
⑤ 受取補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥ 受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦ 受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑧ 雑収入	0	0	0	11	0	0	0	0	0
雑収入			0						
受取利息			0	11					
経常収益計	0	0	0	524,607	0	0	0	0	0

(単位:円)

	公益目的事業 会計	法人会計	令和2年度 (予算)	平成31年度 (実績見込)	公益目的事業会計(内訳表)				収益事業1
					公1	公2	公3	共通	
(2)経常費用									
事業費	6,450	0	6,450	338,689	6,450	0	0	0	0
仕入	6,450		6,450	52,800	6,450				
人件費									
福利厚生費									
広告宣伝費									
運賃									
旅費交通費									
交際費									
車両費									
通信費				4,709					
消耗品費									
印刷製本費									
事務用消耗品費									
諸謝金									
支払手数料									
新聞図書費									
広告宣伝費									
租税公課			0	126,300					
外注費			0	119,900					
資料購入費	0		0						
雑費			0	34,980					
			0						
			0						
			0						
管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
役員報酬			0						
給与手当			0						
臨時雇賃金			0						
退職給付費用			0						
			0						
経常費用計	6,450	0	6,450	338,689	6,450	0	0	0	0

	公益目的事業 会計	法人会計	令和2年度 (予算)	平成31年度 (実績見込)	公益目的事業会計(内訳表)				収益事業1
					公1	公2	公3	共通	
評価損益等調整前当期経常増減額	(6,450)	0	(6,450)	0	(6,450)	0	0	0	0
基本財産評価損益等				312,218					
特定資産評価損益等									
投資有価証券評価損益等									
評価損益等計									
当期経常増減額	(6,450)	0	(6,450)	312,218	(6,450)	0	0	0	0
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
固定資産売却益			0						
雑収入			0						
受取利息			0						
			0						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
固定資産売却損			0						
			0						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	(6,450)	0	(6,450)	312,218	(6,450)	0	0	0	0
法人税・住民税・事業税			0	126,300					
当期一般正味財産増減額	(6,450)	0	(6,450)	185,918	(6,450)	0	0	0	
一般正味財産期首残高			3,322,011	2,969,243					
一般正味財産期末残高			3,315,561	3,315,561					
Ⅱ 指定正味財産増減の部									
受取補助金等									
一般正味財産への振替額									
当期指定財産増減額			0	0					
指定正味財産期首額			0	0					
指定正味財産期末額			0	0					
Ⅲ 正味財産期末残高			3,315,561	3,315,561					

第1回総会 議決

令和3年度（2021年度）

事業計画書（案）

2021年4月1日から
2022年3月31日まで

公益社団法人 生頼範義記念 みやざき文化推進協会

はじめに

【環境認識】

宮崎県の現状をみると、少子高齢化に加え、若者の県外流出の人数が増加傾向にあり、高校まで宮崎にいながら進学、就労に関しては都市部で生活する傾向が続いている。また文化・芸術に関する人材も同様に地元で活躍する者が圧倒的に少なく、地方都市で職業として文化・芸術に携わる若年層が活躍する場の創出の限界が一層顕在化しており、宮崎県という地方都市での文化・芸術に携わる人材の育成の場、環境づくりが喫緊の課題として挙げられる。

令和3年度7月には宮崎県内でコロナ感染拡大の影響により開催が1年延期となった「第35回国民文化祭・みやざき／第20回全国障害者芸術・文化祭みやざき大会」が開催される予定であり、宮崎県民に対する文化・芸術への意識の醸成、また文化・芸術に関する人材のネットワーク化が計画されており、前出の課題の解決に向けた取り組みを実現する契機となる年となるであろう。

平成29年12月（2017年）に一般社団法人として活動を開始した当法人も過去2年間において、芸術文化の普及及び人材育成に努めてきたが、令和2年度（2021年）に公益社団法人の認定を受け、より広く活動の幅を広めていくことは時代に即したものであることを自負し「民間による自発的な文化・芸術活動」を推進し「魅力ある地域社会を創造する」ことを念頭におき、民間公益活動の質と量を高めていくことが重要であると認識している。

以上の環境認識のもと、令和3年度事業計画は、故・生頼範義氏が遺したイラスト、絵画作品を活用し、宮崎県内での文化・芸術に対する県民の意識の醸成及び、文化・芸術に携わる人材育成を柱に、コロナ禍の中でも対応できる諸施策を達成するための初年度として位置づけるものである。

【基本方針】

故・生頼範義氏が遺したイラスト及び絵画作品を保存・保管に努めると共に、宮崎県内での展示会等を企画し、文化・芸術に携わる若手の人材育成と県民の文化に対する意識の醸成を企図することで、地域社会の発展に寄与することを目的として令和2年度は次の3項目を軸に事業計画を策定する。

- 1) 展覧会の開催、常設の展示会場の設置実現に向けての計画策定
- 2) 故・生頼範義氏の作品・約3,000点の保存及び調査研究
- 3) 若手アーティスト育成のための支援

【令和3年度事業方針】

基本方針に基づき、宮崎県の芸術・文化を取り巻く環境変化・課題を適切にとらえつつ、以下の具体的活動を積極的に推進する。

- 1) 展覧会の開催、常設の展示会場の設置・実現に向けての計画策定
 - ・年1回1カ月程度の展覧会の開催
 - ・常設展示会場の設置に向けての調査研究、提言活動
 - ・宮崎県内からの生頼作品に関する情報の発信
- 2) 故・生頼範義氏の作品・約3,000点の保存及び調査研究
 - ・故・生頼範義氏が遺したイラスト及び絵画作品の製作年度の調査
 - ・イラスト及び絵画作品の製作目的の解明
 - ・イラスト及び絵画作品の保管場所の確保に対する議論を深め、実現に向けて関係機関への提案を行う
 - ・常設の展示会場設置に向けて議論を深め、実現に向けて関係機関への提案を行う

3) 若手アーティスト育成のための支援

- ・芸術文化のさらなる普及を目指し「生頼範義賞」を創設するための準備及び関係機関との連携を図る
- ・将来のアーティストと成りえる人材の育成に係る課題と取組について議論を深める

「事業実施内容」

〈公益事業〉

1. 故・生頼範義氏の遺した作品の普及・啓発を目的とし、展覧会を開催するための企画を行うと共に、常設展示会場の設置に関する事業（公1）

（1）展覧会開催のための企画案策定（公1－①）

コロナ禍の中でも対応可能な展覧会企画案の策定を行う。

（2）常設展示場設置の計画策定（公1－②）

生頼作品が日常の中でいつでも見られるような環境を創造するため、宮崎県内に常設展示場を設置するための計画策定に着手し、関係機関と調整のうえ、必要であれば関係機関に提案し実現に向けての活動を行う。

2. 故・生頼範義氏の遺した作品の保存及び調査研究に関する事業（公2）

（1）生頼範義作品の調査研究（公2－①）

現在、故・生頼範義氏のアトリエに保管されているイラスト・及び絵画作品の詳細（制作年度、制作の目的、画材等）を調査し後世に遺していく資料として整備するための調査研究を行う。

（2）生頼作品保存のための施設設置の計画策定（公2－②）

前項の作品を保存、保管していくための関係機関と調整し実現に向けての活動を行う。

（3）上記（1）（2）を達成するため、広く賛助会員及び寄付を募るための

広報を行う。

3. 若手アーティスト育成のための支援に関する事業（公3）

（1）第2回「生頼範義賞」の公募事業（公3－①）

芸術文化のさらなる普及を目指し、第2回「生頼範義賞」し、受賞者発表会等を開催し若手アーティストとイラスト分野における産業との幅広い連携を図る契機とする。2021年10月に授賞式を予定。

（2）若手アーティスト育成の場となるよう他団体(出版者、NPO等)との連携により、将来のイラストレーター、画家を目指す人材の育成に関わる課題と取り組みについて学習会、意見交換会等を開催する。（公3－②）

〈その他事業〉

4. 関連商品の製作・販売の企画立案（他1）

（1）複製原画等の製作・販売に関する事業

公益事業を展開するための事業費を捻出するため、生頼家の許諾を得て生頼氏の作品の中からセレクトしたものの複製原画等を作製し販売する企画を立案する。

なお本収益事業で得た利益の50%は公益事業の事業費として充当する。

令和2年度(2020年度)収支予算書
2021年4月1日 ~ 2022年3月31日
一般社団法人生頼範義記念みやざき文化推進協会

(単位:円)

	公益目的 事業会計	法人会計	令和3年度 (予算)	令和3年度 (実績見)	公益目的事業会計(内訳表)				収益事業1	合計
					公1	公2	公3	共通		
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
① 基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0							0
② 特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0							0
③ 受取会費	300000	0	300000	0	0	0	0	300000	0	300000
正会員受取会費			0							0
賛助会員受取会費	300000		300000					300000		300000
名誉会員受取会費			0							0
④ 事業収益	650000	200000	850000	524596	200000	300000	50000	100000	1000000	1850000
(公1) 博物館事業	300000		300000	524596	200000			100000		300000
(公2) 表彰事業	300000		300000			300000				300000
(公3) 学習会開催事業	50000		50000				50000			50000
収益事業		200000	200000						1000000	1200000
			0							0
			0							0
			0							0
			0							0
⑤ 受取補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0							0
⑥ 受取負担金	500000	0	500000	0	300000	200000	0	0	0	500000
	500000		500000		300000	200000				500000
⑦ 受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0							0
⑧ 雑収入	0	10	10	0	10	0	0	0	0	10
雑収入			0							0
受取利息		10	10		10					10
			0							0
経常収益計	1450000	200010	1650010	524596	500010	500000	50000	400000	1000000	2650010

(単位:円)

	公益目的 事業会計	法人会計	令和3年度 (予算)	令和2年度 (実績見)	公益目的事業会計(内訳表)				収益事業1	合計
					公1	公2	公3	共通		
(2)経常費用										
事業費	1435000	100000	1535000	212389	130000	200000	930000	175000	100000	1635000
仕入	130000		130000	52800	130000				100000	230000
人件費		100000	100000	0						100000
福利厚生費	0		0	0						0
運賃	30000		30000				30000			30000
旅費交通費	200000		200000	0			200000			200000
交際費			0	0						0
車両費			0	0						0
通信費	30000		30000	4709				30000		30000
消耗品費	30000		30000	0				30000		30000
印刷製本費	30000		30000	0				30000		30000
事務用消耗品費	30000		30000	0				30000		30000
諸謝金	500000		500000	0			500000			500000
支払手数料	5000		5000	0				5000		5000
新聞図書費	30000		30000	0				30000		30000
広告宣伝費	200000		200000	0			200000			200000
資料購入費	10000		10000	0				10000		10000
外注費	200000		200000	119900		200000				200000
雑費	10000		10000	34980				10000		10000
租税公課	0		0					0		0
			0							0
			0							0
			0							0
管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
役員報酬			0							0
給与手当			0							0
臨時雇賃金			0							0
退職給付費用			0							0
			0							0
経常費用計	1435000	100000	1535000	212389	130000	200000	930000	175000	100000	1635000

	公益目的 事業会計	法人会計	令和3年度 (予算)	令和2年度 (実績見)	公益目的事業会計(内訳表)				収益事業1	合計
					公1	公2	公3	共通		
評価損益等調整前当期経常増減額	15000	100010	115010	312207	370010	300000	-880000	225000	900000	1015010
基本財産評価損益等										0
特定資産評価損益等										0
投資有価証券評価損益等										0
評価損益等計										0
当期経常増減額	15000	100010	115010	312207	370010	300000	-880000	225000	900000	1015010
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
固定資産売却益			0							0
雑収入			0							0
受取利息			0	11						0
			0							0
経常外収益計	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用										
固定資産売却損			0							0
			0							0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	15000	100010	115010	312218	370010	300000	-880000	225000	900000	1015010
法人税・住民税・事業税			0	124700				0	0	0
当期一般正味財産増減額	15000	100010	115010	187518	370010	300000	-880000	225000	900000	1015010
一般正味財産期首残高			3315561	3128043						
一般正味財産期末残高			3430571	3315561						
Ⅱ 指定正味財産増減の部										
受取補助金等										
一般正味財産への振替額										
当期指定財産増減額			0	0						
指定正味財産期首額			0	0						
指定正味財産期末額			0	0						
Ⅲ 正味財産期末残高			3430571	3315561						

0